

熱中症対策

日置市立伊集院中学校

本校では、過去熱中症による死亡事故が発生し、熱中症に関する研修・対策を行ってきた。本校においては、熱中症を絶対に起こしてはならないことを強く自覚し、指導・対策を徹底する。

- 1 教室の気温の測定を行い、必要な対応策を練る。
- 2 教室の気温上昇を軽減するために、欄間（上窓）の開放を行う。また、教室内に水を張ったバケツを置くなど工夫する。
（戸締まりについては、放課後必ず確認する）
- 3 水分補給のために水筒・魔法瓶持参を認める。
（体育大会までの期間に限定する。）
 - (1) ペットボトルではなく、水筒・魔法瓶を持参させる。
 - (2) 水筒等の中身については、スポーツドリンク・お茶類に限定し、ジュース類は認めない。
 - (3) 休み時間に教室内で飲用する。廊下・特別教室など自分の教室外や授業中に飲むことは認めない。
- 4 帽子を着用させる。
 - (1) 体育大会練習においては、帽子を着用させる。帽子替わりのタオルの使用は認めない。
 - (2) 登下校や部活動における着用も奨励する。タオルを代用しない。
- 5 体育大会練習等における適切な健康管理を行う。
 - (1) 練習前に、毎回必ず全体指導の中で注意を促す。また、健康観察を徹底する。
 - (2) 休息時間を設け、水分補給を行わせる。
 - (3) テントを準備し、見学者等に対応する。